



01 アンモナイト館

[4-C]

アンモナイト館は牧島にあるとても小さな博物館。中に入って、覗き窓から地下を見ると、直径約60cm、九州最大のアンモナイト化石が発見時の姿のまま、海岸の8,500万年前の地層の中にあるのを見ることができます。

また、ジオツアーズムガイドに牧島案内のコースを依頼すれば、アンモナイト館の地下に降りることができます。手の届く距離で巨大なアンモナイト化石と記念写真はいかがでしょうか。



02 伝馬舟

[4-C]

ひと昔前には、海辺のどこの集落でも見かけることのできた、櫓漕ぎでゆったりと水面を進む木造船の風景。しかし今では、木造船も、櫓を漕ぐ姿も見かけることはほとんどありません。

御所浦の牧島では、そんな姿を今でも残した木造の伝馬舟に乗り、櫓漕ぎを体験することができます。島民が櫓の漕ぎ方をやさしく教えますので、少し昔のゆったりした時間を感じてみませんか。

▷ 御所浦アイランドツーリズム推進協議会
(おとな¥1,000・こども¥900) ☎ 0969-67-1080



03 アコウの木

[5-C]

御所浦島から橋を渡り牧島に入ると、海沿いに家が点在する牧本地区です。その家々に寄り添うように葉を広げた「アコウの木」はかつて防風防潮のために植えられたもの。

写真は、そんなアコウの木のひとつ。天草市の天然記念物第1号に指定された樹齢300年とも言われるこの木がある木陰は、地元のおばさんたちのよいたまり場。毎日のように、おばさんたちが会話を花を咲かせています。



04 横浦のえべっさん

[6-B]

御所浦では恵比寿様のことを親しみを込めて「えべっさん」と呼んでいます。

御所浦の中でも、横浦島の横浦地区にはえべっさんたちが特にたくさん鎮座しています。道から見えるえべっさんをざっと数えただけでも優に60体を越え、実際には家の陰など見えづらいところにいることもあるので、100体はいるのではないのでしょうか。

その表情も各々に、えべっさんたちは御所浦の海を見守ってくれています。



05 嵐口の背戸輪

[6-C]

御所浦島の北に位置する嵐口(あらくち)地区は御所浦町の中で一番人口が多い集落。背戸輪(せどわ)と呼ばれる昔ながらの細い路地が広がり、その複雑さは、地元島民であっても迷ってしまうこともしばしばといったほど。

家々が密集する背戸輪を山手に抜けられれば、集落を見渡せる小学校跡地にたどり着くことができます。地元の人々に道を尋ねながら背戸輪散策にトライしてみるのもいいかもしれません。



06 鳥峠

[6-E]

御所浦港から車で出発。曲がりくねった林道を進むと20分ほどで御所浦町の最高峰、標高442mの鳥峠の頂ぎに到着します。鳥峠展望台から望む360度のパノラマビューは、まさに絶景という言葉がぴったり。波の穏やかな不知火海に浮かぶ御所浦町の姿を一目につかむことができます。

空気が澄んだ日には、遠くは長崎県の雲仙普賢岳や、はるか沖合の鹿児島県甬島に属する小島の姿が見えることも。



07 採石場跡地化石採集場

[5-F]

御所浦島の南東部にある採石場の跡地。採石後に露出した1億年前の地層の崖には、過去の地震をあらわす正断層と逆断層、2種類の断層を確認することができます。学術的にも興味深い場所です。

この採石場跡地には船でなければ行くことができませんが、ジオツアーズムガイドと一緒にあれば、上陸して現地の岩石をつかった化石採集場で化石採集をすることができます。

※上陸にはガイド同行が必要です。



08 白亜紀の壁

[6-E]

赤、青、白と色味の違う1億年前の地層が幾重にも積み重なって美しい縞模様をつくる高さ200mの「白亜紀の壁」。「白亜紀の壁」では、1997年に日本最大級の肉食恐竜の歯が発見されています。この歯の持ち主の恐竜は、全長が10mを越える大きさであったと考えられています。また、植物食恐竜の仲間では、全身骨格の復元が期待される化石も見つかっており、今後の研究成果が期待されています。



09 しおさい館

[御所浦港周辺地図]



御所浦の玄関口である御所浦港に建つ観光物産館「しおさい館」。

御所浦産の鮮魚や農産物、加工品販売の他、定期船のチケット売り場も兼ねています。御所浦の観光案内所でもありますので、観光に関するお問い合わせはしおさい館へどうぞ。

御所浦ゆるキャラ「てらのくん」グッズも販売しています。

▷ しおさい館 ☎ 0969-67-1234



10 市立御所浦白亜紀資料館

[御所浦港周辺地図]

御所浦白亜紀資料館では、御所浦で見つかった日本最大級の大型肉食恐竜の歯をはじめとした、貴重な天草の化石を中心に展示しています。

島のあちこちから発見された恐竜の骨や足跡の化石、恐竜時代を代表するアンモナイトや貝の化石、また日本最古の大型ほ乳類の化石など「恐竜・化石の島」である御所浦ならではのコレクションが所せましと並んでいます。

▷ 御所浦白亜紀資料館 ☎ 0969-67-2325
▷ 新博物館建設のため、2021年9月より休館

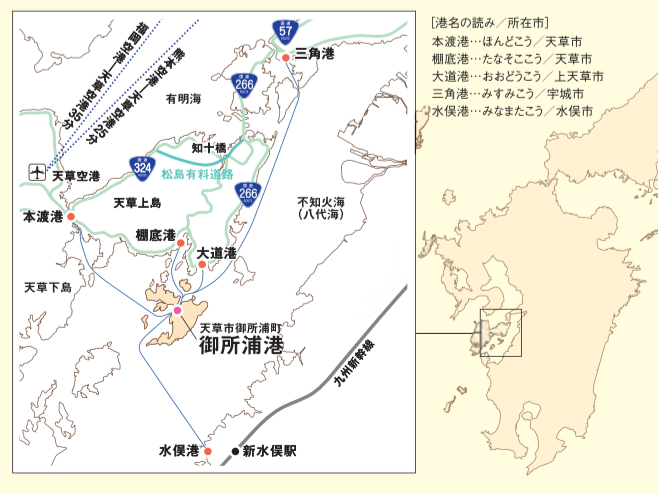
| | |
|-----------------------------|--|
| | 船に乗って、不知火海をぐるっと遊覧。 御所浦の重要な生活の足である貸切船「海上タクシー」は、港間の渡航のほか、無人島への渡し船やクルージングにもご利用いただけます。船の手配はしおさい館、または、あまくさ海上タクシー協会まで。 |
| 問合せ | 御所浦物産館しおさい館 ☎ 0969-67-1234 あまくさ海上タクシー協会 (御所浦物産館しおさい館内) |
| 料金制 | 御所浦港発着 ▶ 舟天島 ▶ 片道 ¥3,000/1艘 (定員12名) 約15分 御所浦島一周 (ガイド付・御所浦港発着) ▶ ¥15,500/1艘 (定員12名) 約100分 |
| モデルコース (100分) | 化石の島ぐるっとクルージングコース 御所浦港発着 ▶ 舟天島 ▶ 京泊 ▶ 探石場跡 ▶ 白亜紀の壁 船で行くことのできない、白亜紀の痕跡をガイドと巡ります。(¥15,500/1艘) |
| | 自転車を漕いで、島の海辺を探検。 海岸道路は絶好のサイクリングコース。自転車で行けば、海に浮かぶ島々を行きかう船を横目に、島の暮らしを身近に感じることができるはず。自転車はしおさい館のレンタサイクルをご利用ください。 |
| 問合せ | 御所浦物産館しおさい館 ☎ 0969-67-1234 |
| 料金 | レンタサイクル ¥500/1日 (子ども、大人同一料金) |
| モデルコース (150分) | アンモナイトサイクリングコース しおさい館発着 ▶ ニガキ化石公園 ▶ あこうの木 ▶ アンモナイト館 橋を渡って牧島へ。家々の防風樹「あこうの木」も見どころ。(片道4.3km) |
| | タクシーで、多島海の絶景を訪ねる。 島の景色やジオサイトを訪ねたいでも、徒歩や自転車ではちょっと…。そんなときには、観光コースを定額で回ることができ、タクシーのご利用をおすすめします。タクシーの手配はしおさい館へご依頼ください。 |
| 問合せ | 御所浦物産館しおさい館 ☎ 0969-67-1234 御所浦タクシー ☎ 0969-67-3035 |
| 料金制 | 御所浦港一島峰 ▶ 往復 ¥3,700 御所浦港—ニガキ化石公園—アンモナイト館 ▶ 往復 ¥4,020 |
| モデルコース (70分) | 島峠パラマ展望コース しおさい館前タクシー乗場発着 ▶ 島峠頂上 (442.4m) 島峠山頂は不知火海を見渡す360°絶好の眺望スポット。 |
| | 御所浦ジオツアーズムガイドも活用しよう！ モデルコースを島民ガイドと一緒に巡りませんか。御所浦を知り尽くしたガイドと、一歩違う島の魅力を見つけに行きましょう。 ※詳しくは御所浦ジオツアーズムガイドリーフレットをご覧ください。 |
| 御所浦旅館業組合加入旅館・民宿一覧 | |
| 御所浦島 | シーガル亭 ☎ 0969-67-2929 御所浦島 喜久屋旅館 ☎ 0969-67-2426 エンジヨもぐりだ ☎ 0969-67-2245 |
| 御所浦島(嵐口) | 鶴岡旅館 ☎ 0969-67-2006 民宿まきしま ☎ 0969-67-2374 |
| 牧島 | 民宿まきしま ☎ 0969-67-2374 |
| 横浦島 | あかね荘 ☎ 0969-67-2843 みさき荘 ☎ 0969-67-2856 |
| + 天草市立御所浦診療所 ☎ 0969-67-2007 | |



航路について
御所浦では定期航路の他、海上タクシー(貸切船)も運航しています。航路情報については、御所浦.net「アクセス」ページをご覧ください。しおさい館までおたずねください。



御所浦.net
アクセスページ



御所浦観光物産館
お問い合せ 8:30~18:00
しおさい館 Tel/Fax. 0969-67-1234